



The NS グループ

しなやかな頭脳集団 NABESHO ニュースNo.54

「わいがや」テーマ

NSGイスム徹底に向けて(次の100年)

社長報告書他話し合いつきあることに、なんて! どうして! を運営してください。社長は何をどうしようと考えているのでしょうか?

なぜ次会議が、社長報告会となつたのでしょうか?
なぜ懇親旅行が、社員旅行として研修旅行となつたのでしょうか?
なぜ責任者挨拶会議などしたのでしょうか?

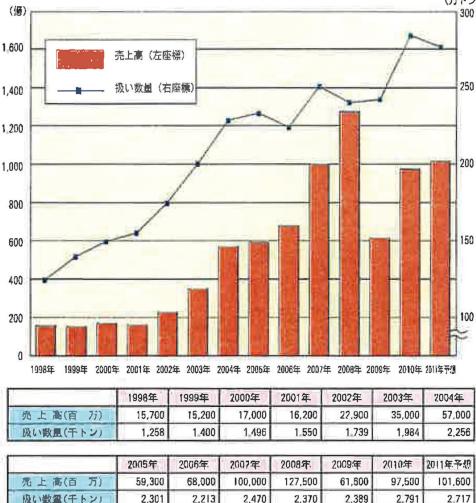
NSGナベシヨーの今があるのは? それは、常に変化を受け入れてきた、適応性があつたら生き残りこられたのです。変化を恐れている場所ではあります。変化しなければいけないので。日々の変化が大切です。今後の日報にも変化が必要です。社長会議には必ず目を通してください。そして、なんて! どうして! の連呼をしてください。そして、お互いの理解を深めることです。

最大の皮肉バーナード・ジョーの「歴史から学へることは『われわれが歴史から何も学んでいない』ということだけだ」には実感があります。

社長語録 私が学んだことは、説せは分かるはウソ。世の中には、いくら話してもわからぬことがあるということです。であれば、どうすればいいのでしょうか? 話さなければいい、というのも選択肢にはありますか…それでは会社はなりたたないのです。

2012/1/13 渡邊 康博

年度別 売上対比表



月間扱い数量は78年頃までは2万トン前後。5万トン突破が84年。10万トンの大台に乗ったのが88年10月。07年には月間平均でも20万トンに乗った。リーマンショック直後の08年11月13万トンまで一気に急落したが、09年には再び20万トン台に戻り10~11年の月間平均は23万トン台を維持している。▶年間売上げ金額は、08年は相場高騰もあり1,275億円。09年は616億円。11年は1,000億円台を回復した。

—渡邊社長のコラム
(伝)板の評判は良。
渡邊 私の口癖は「仕
事は出会い重く」思いつ
き先生にして」です。
例えば懇親のロングセ
ラー機である「もうカッ
ター」のネーミングも思
いつづ。その私の行動を
映したかのようなコラム
が継続され、「創意ある組織
を作ると」とのタイトルで
紹介されました。

実は、例年、私は社員
に「牛頭に当たり一言」と
の文書を作成しています。
「金融危機に見舞われ
ている今こそ(変化を受
入れてきた)適合性が求
められている。変化を恐
れしている場合ではない
変化しなければならない
といふ」(創意)を
い。日常的な決断の一
つ。



不信と不審の時代を生き抜く

自ら作り出すものだ!
逆境こそ一志の源なのだ。
との檄を飛ばしました。
それが1月4日です。
しかし、ただ怨怒を憤慨
するな! 挑戦しき! と打つ
ても、社員がそれを自己分
かりを察するなど、問題だ
との疑問意識などの問題だ
などと考ふ! と打つて
だよと考ふ!

この結果、鉄スクラップ
の発想を察さう! と
いつの間違とも、疑問点
だよと考ふ! と打つて
だよと考ふ!

「物価」で乱高下し
易くなつた。しかし製
造がどんに悪いのが
その結果として数々・
品質・納期遅延を条件に
ロングの契約制的なもの
も動き出しております。

いまなら当然ですが30
年前の商機全盛な
うこんな日本は考ふ
いる。とにかく動き回れ
ば、頭を打てば、自然と
変わるものです。
毎年同じもの小さな
動き回りが、10年もたて
れば、自分自身を大きく変
えていります。

社長は何をどうしようとしているのでしょうか?

いる。とにかく動き回れ
ば、頭を打てば、自然と
変わるものです。

だから、昔ながらの
あり得なかつた業者と業
者、商社と商社同士を横
にじめに繋げ、常に繋
げ、斜めに繋げ、繋げ
ば、自分自身を大きく変
えていります。

ひつが、生残りの可否
を決めるテストになつて
くる」としたうえで、
リーダーに「ハハハ」
はない。「どうやるか」
ではなく、「どうあるか」
と言う問題だ。つまり
「生残り方 そのものだ。
現実に金力があつつか
れ! それが「著者」の
ところ! とだ。信頼を求
めの方になつたのか?

まるでなつきました。

渡邊 「信じのよう

に」2010年で最も変わった
のが鉄スクラップ物流で
す。調査によれば鉄スクラ
ップ輸出は01年以降、
年間600万トン前後で、
積出しは全国98港、3,6
5箇所で行われています。

動き回りが、10年もたて
れば、自分自身を大きく変
えていります。

現は危機の時代だと
いわれていますが、端的

に「『信と不審の時代』

です。ですから、
現は危機の時代だと
いわれていますが、信
頼のできる人間・信頼の
できる業者を求めている
たとえば、先ほどの鉄
スクラップ物流です。

られないことでした。

ですから、昔ながらの
あり得なかつた業者と業
者、商社と商社同士を横
にじめに繋げ、常に繋
げ、斜めに繋げ、繋げ
ば、自分自身を大きく変
えていります。